

発刊によせて



青森県知事 三村 申吾

少子高齢化の進行や、社会経済情勢の急激な変化に対応し、活力ある地域社会を維持していく上で、女性も男性も互いにその人権を尊重し、喜びと責任を分かち合いながら、支え合い、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、非常に重要です。

国では、「第2次男女共同参画基本計画」策定後の男女共同参画社会の形成に関連する国内外の様々な状況の変化を考慮し、女性にとっても男性にとっても生きやすい新たな社会づくりをめざして、「第3次男女共同参画基本計画」を年内に策定すべく検討を進めています。

県においても、平成19年3月に、第2次計画となる「新あおもり男女共同参画プラン21」を策定し、青森県がめざす男女共同参画社会像として「男女が わかち合い ささえ合う 青森県」を実現するため、様々な施策を展開しています。

今後とも、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進し、誰もが多様で柔軟な生き方、働き方を選択しながら、いきいきと暮らせる環境整備に取り組むとともに、市町村、各種団体等と連携をとって、男女共同参画社会の実現に取り組んでいきます。

本書は、青森県男女共同参画推進条例に基づく報告書として、「新あおもり男女共同参画プラン21」の基本目標、重点目標及び施策の方向等に沿って、本県における男女共同参画の現状と具体的な施策について記述しています。

この報告書が、一人でも多くの県民の皆様に、男女共同参画社会についての理解と関心を深めていただく機会となり、今後の更なる取組に役立つよう期待いたします。

平成22年10月